

～きれいな川に生息する魚類や水生昆虫たち～

8月26日(土)、朝から子供34人と大人47人の参加のもと、中堀において、魚類や水生昆虫を捕獲して生息状況を調べました。(6年目の調査)子供達は、アドバイザーの指導を受けて、捕獲した魚の名前を調べ、絵に描いて切り抜き、模造紙に貼って生きものマップをつくりました。川の水調査は、水のイオン濃度を測定するパックテストでCOD(化学的酸素要求量)・りん酸態りん・アンモニウム態窒素・亜硝酸態窒素・硝酸態窒素の試薬反応色を見ると、きれいな状態の中堀は、魚類や水生昆虫が繁殖するのに適した場所となっています。調査に参加した皆さんは、田んぼや水路に関心を深めたと共に、生態系保全活動の必要性を感じたようです。お楽しみタイムには、役員有志の手作り焼きそば、かき氷、ドジョウ唐揚げがふるまわれ、田んぼで捕れたドジョウを食べたことのない人も栄養タップリの珍味を笑顔で味わっていました。(黒須敏文記)



中堀での調査風景



役員さんが指導です



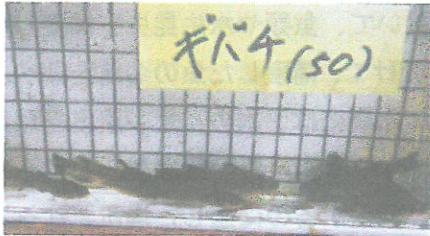
タガメを掴めるようになりました



魚が移動できる水路魚道です



捕獲した生きもの達：魚類（ドジョウ・カラドジョウ・ギンブナ・モツゴ・ホトケドジョウ・タモロコ・カワムツ・ギバチ）水生昆虫（タガメ・タイコウチ・シマゲンゴロウ・ハグロトンボ・コオニヤンマ・オニヤンマ・コヤマトンボのヤゴ）貝類（マルタニシ・カワニナ・マシジミ）甲殻類（カワリヌマエビの仲間・アメリカザリガニ多数・・共に外来種）でした。3面コンクリートの水路ですが、土砂が各所に溜まり草が繁茂しているため、隠れ家があることで生息環境が確保されています。特にタガメは昨年に引き続き成虫と幼虫が6匹も捕れました。県内でも生息数の多さでは上位です。この環境が持続する活動を推進しましょう。



ギバチ（ギンギョ）刺されると痛いよ



ヌカエビに似た外来種



きれいなシマゲンゴロウ



水質調査（パックテスト）



今年も美味しい唐揚げをありがとう



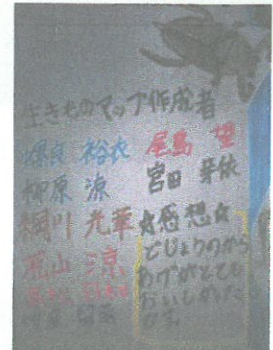
美味なドジョウに「ビールが欲しい」



昔のお話しを（網川仁一氏・網川文世氏）



生きものマップを作りました



頑張った皆さんです



八ッ木資源保全会の役員各氏

昨年に引き続き多くの皆さんが参加しての生きもの調査でした。タガメが多数みられる豊かな環境は県内でも上位です。小学生時代の自然体験は成長時期の皆さんの、豊かな感性を育むことでしょう。地元の皆さまの教育力に敬意を表しますとともに、この活動の継続を期待します。

アドバイザー 中荇 元一